

番号	28 - 4	申請者	神経内科医長 栗崎 玲一
<p>【審査申請課題】</p> <p>パーキンソン病患者を対象とした熊本地震の影響に関する検討</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>2016年4月14日の地震を前震, 16日の地震を本震とする, いずれも最大震度7の大地震である熊本地震が発生した1). パーキンソン病 (PD) に罹患し当院外来に通院する患者も大きな影響を受けたものと推察される. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) などの人工呼吸器装着を療養に必要とする重度神経難病については災害時対応について日本神経学会監修の各ガイドラインに明示されている2) 3)が, PD患者に対する災害時対応については, 本邦および全世界のPD治療ガイドラインをみても特に触れられているものはない.</p> <p>今回の研究では, PD患者に対して, 熊本地震がどのような影響を及ぼしたのか, 震災後の状況をアンケート研究により多面的に把握し, 今後のPD患者が大震災に遭遇した際の災害時支援・指導・援助のために役立たせるのが本研究の目的である.</p> <p>1) 平成28年(2016年)熊本地震の関連情報. 気象庁Web. 平成28年6月15日閲覧. http://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html</p> <p>2) 地震などの大規模自然災害に対してどのような準備をするか. 日本神経学会監修 筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン2013, pp195-6, 2013</p> <p>3) 災害に備えてどのような準備をしておくべきか. 日本神経学会監修 デュシェンヌ型筋ジストロフィー診療ガイドライン2014, pp99-102, 2014</p>			
審査結果	承認 (平成28年6月21日)		